



今後15年間、子どもが増え続けていくのに

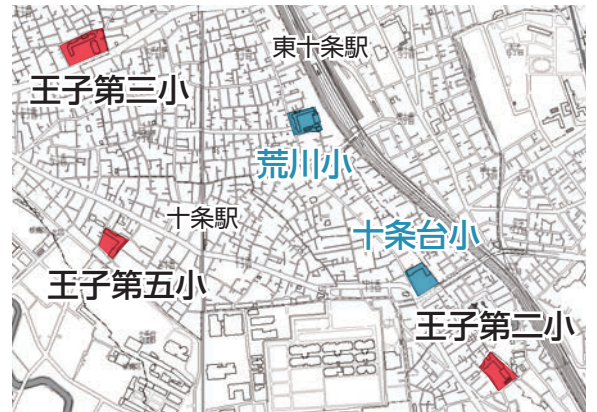
学校をなくしてよいのか

十条富士見中サブファミリーブロック適正配置協議会

こうした中、十条富士見中サブファミリーブロック小学校適正配置協議会は18日、荒川小と十条台小を統合し、最終的に荒川小を

荒川小・十条台小の統合を提案

北区の人口、とりわけ子どもの人口が増えている下で、区内の小中学校では教室が足りなくなったり、将来的な施設不足を懸念する声が広がっています。



86号線を歩く

19日に行われた補助86号線ウォーキング調査。約50人が志茂、赤羽西の計画地を歩きました。(のの山けん)



廃校とする方針を決定しました。今後、2月13日と16日に協議会方針の報告会を開いた上で、北区教育委員会が適正配置方針を正式決定する予定です。

協議の前提が失われても結論急ぐ

適正配置協議は、1学年25人×6学年、ただし20人を下回る学年が複数存在しない、と定義された「当面存続規模」を下回る学校が

出た場合にサブファミリーブロックで着手するとされています。十条富士見中ブロックでは、3年前の協議開始当初は当面存続規模を下回る学校があったものの、その後の児童の増加で、現在ではすべての学校が当面存続規模以上となつていきます。

最新の人口推計は議論すらされず

さらに重大なのは、昨年3月に発表され、今後15年間年少人口が増加するとして最新の北区人口推計調査について、協議会にまでも説明がなく議論すらされなかったことです。

協議会事務局を務める教育委員会の情報提供責任が問われる問題です。(のの山けん)

日本共産党
志茂・赤羽後援会
初詣バス旅行

佐野厄除け大師と 蔵の街とちぎ



20日、日本共産党志茂・赤羽後援会の初詣バス旅行で栃木県を訪れました。晴天に恵まれ、佐野厄除け大師の参拝、小山グランドホテルでのバイキング、造り酒屋や蔵の街の見学を楽しみました。(のの山けん)

昨春秋のバス旅行が台風のため中止となったので、後援会のみなさんとご一緒するバス旅行は一年ぶり。何度も訪れている栃木県ですが、佐野厄除け大師や栃木市内をめぐるのは初めてです。

午前8時に赤羽を出発。総勢45人でのバスの旅です。首都高速から東北道に入り、1時間ほどで佐野市に

着きました。

一度は食べたい大きく
甘いスカイベリー

最初の訪問地は、道の駅「どまんなかたぬま」。子どもの遊戯施設や足湯まである人気のスポットです。

バスガイドさんからの一押しは、とちおとめより大振りな栃木産イチゴのスカイベリー。確かに果実が大きい！とはいえ、一粒数百円という値段も規格外。

参拝客が列をなす

佐野厄除け大師

続いて今回の旅のメイン、



スカイベリーが並ぶ道の駅どまんなかたぬま



小山グランドホテルでバイキングを楽しむ

佐野厄除け大師へ。言わずと知れた関東三大師の一つですが、境内は意外と狭い。1月も半ば過ぎですが、参拝客は多く、お参りをするにも行列に並ばなければなりませんでした。

グランドホテルでのバ

イキングは大好評

昼食は、小山グランドホテルでのバイキング。肉料理、魚料理、野菜、フルーツ、デザートと、よりどりみどりの食材を味わうことができ、参加者には大好評でした。

満腹となったところで再

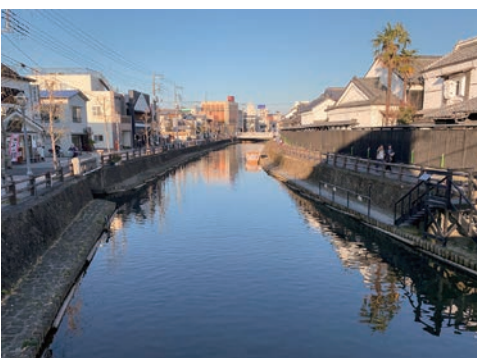
びバスに乗り込みました。

明治創業、大正時代の
建造残す西堀酒造

小山市内にある西堀酒造は老舗の造り酒屋。大正時代に建てられた建物は、今も健在です。試飲と買い物を楽しみました。

もう少し見てまわり
たかった蔵の街とちぎ

最後は栃木市内の散策。古い蔵が点在し、少し歩くと巴波川（うづまがわ）に出ました。美しい街並みをもう少し見たいと思いつつ、栃木県を後にしました。



巴波川の流れる美しい蔵の街とちぎ